

-目に見える効果的な教育を行うための具体的手法とは-

1名分料金で
2人目無料

作業員レベルに合わせたGMP教育実践講座

◆日時:2018年11月29日(木) 12:30~16:30

◆会場:江東区産業会館 第1会議室

◆聴講料:1名につき49,980円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

※学生のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:外資系製薬企業 信頼性保証本部品質保証部 部長・品質保証責任者 柳澤 徳雄 氏

【取得できる知識】

- ・医薬品企業の教育担当者が身につけるべき基本的知識とQuality Culture
- ・教育担当者の育成法
- ・何を準備すべきか?
- ・教育を行うための準備
- ・効果的な教育を行うためのコツ
- ・経験者に対する教育と非経験者に対する教育の違い

製薬企業が達成すべき目的は「恒常的な品質の医薬品を安定的に供給する」事にある。この目的を達成するためには、豊かなQuality Cultureを持つ社員に支えられた堅牢な品質保証システムが必須となる。Quality Cultureを持つ社員を育成するため、教育者は何をすべきか、その教育者を育てるために何をするかを、参加者とのDiscussionを通して理解を深める。

また、集合教育およびOJTの効率を上げるためのポイント及びそのための準備として必要なこと、効果的な教育とするためのテキスト作成のコツ、および契約社員への教育、などについて講演者の経験を基に紹介します。

1.自己紹介

2.進め方の説明、

3.グランドルールの設定

3-1何故必要か?時間の短いときへの対応

4.教育の目標

4-1.義務教育と企業内教育

4.2.製品・環境の影響

1)同じ教育資料で教育する 2)人材供給路

5.教育担当者の育成

5-1.なぜ難しいか?

5-2.教育担当者の認定

6.教育者になるためのトレーニング

6-1.スキル

1)子供と大人の違い 2)準備(7項で詳細を解説)

3)コミュニケーション

6-2.知識

7.準備

7-1.対象の明確化

7-2.上司との調整

7-3.場所・日程

7-4.資料作成/講師への説明

7-5.宿題/講師への説明

7-6.異常事態への対応

7-7.オーバーフローの防止

7-8.OJT

8.効果的な集合教育を行うためのコツ

8-1.初任者(中途)

8-2.中堅

8-3.ベテラン

8-4.聴講者を前向きにさせる

8-5.印象的な資料の作成法

8-6.アイスブレイク

8-7.無関心(内職)、妨害、その他への対応

8-8.人は忘れる/宿題の重要性

8-9.評価

8-10.経験者に対する教育と非経験者に対する教育の違い

9.OJT

9-1.OJTの重要性

9-2.OJTのポイント

9-3.OJTの際の資料

9-4.個人マニュアルの防止

9-5.ノートの是非

10.Quality Cultureの育成

11.まとめ

【質疑応答・名刺交換】

『化粧品高分子』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。

弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>